

整理番号	整-2023-4	指定年月日・指定番号	令和5年6月9日・形-56号	所在地	渋川市八木原字町東519番8の一部、522番2の一部、524番の一部、524番2の一部、525番4の一部		
調製・訂正年月日	令和5年6月9日指定台帳の調製/令和5年6月9日訂正(全部解除による指定台帳の消除及び解除台帳の調製)						
形質変更時要届出区域の概況	工場跡地			面積	(当初指定面積) 110.32㎡ (解除済み面積) 110.32㎡		
法第14条第3項の規定に基づき指定された形質変更時要届出区域にあつては、その旨	一部の土地については法第14条第3項に基づき指定した。						
最大形質変更深さより1メートルを超える深さの位置について試料採取等の対象としなかった土壌汚染状況調査の結果により指定された形質変更時要届出区域にあつては、その旨、当該試料採取等の対象としなかった深さの位置及び特定有害物質の種類							
土壌汚染のおそれの把握等、試料採取等を行う区画の選定等又は試料採取等を省略した土壌汚染状況調査の結果により指定された形質変更時要届出区域にあつては、その旨及び当該省略の理由							
汚染の除去等の措置が講じられた形質変更時要届出区域にあつては、その旨及び当該汚染の除去等の措置	土壌汚染の除去(解除の理由となった汚染の除去等の措置)						
第58条第5項第10号から第13号までに該当する区域にあつては、その旨							
形質変更時要届出区域内の土壌の汚染状態	報告受理年月日	指定に係る特定有害物質の種類		適合しない基準項目		指定調査機関の名称	
	令和5年2月10日	水銀及びその化合物		含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		国際航業株式会社	
	令和5年2月10日	鉛及びその化合物		含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		国際航業株式会社	
土地の形質の変更の実施状況	届出(着手)時期	完了時期	土地の形質の変更の種類		実施者	土壌搬出	汚染土壌の処理方法
	令和5年4月10日	令和5年4月15日	土壌汚染の掘削除去		土地所有者	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	管理型埋立
						有・無	

備考1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

備考2 「形質変更時要届出区域内の土壌の汚染状態」については、土壌その他の試料の採取を行った日、当該試料の測定の結果等を記載した書類を添付すること。

土壤汚染状況調査における試料採取地点等及び区域内の土地の土壤の特定有害物質による汚染状態を明らかにした図面（図1）

所在地：渋川市八木原字町東519番8の一部、522番2の一部、524番の一部、524番2の一部、525番4の一部

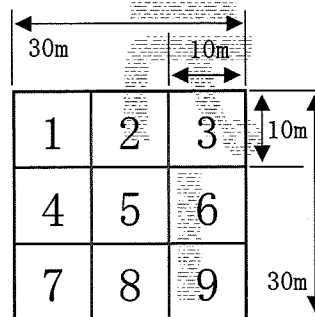
調査物質：クロロエチレン、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、トリクロロエチレン、ベンゼン、カドミウム及びその化合物、六価クロム化合物、水銀及びその化合物、セレン及びその化合物、鉛及びその化合物、砒素及びその化合物

調査方法：土壤ガス調査、土壤溶出量調査、土壤含有量調査

試料採取日：令和3年11月5日

調査結果：表2、3、4のとおり

凡例



- 調査対象地
- 統合区画
- 土壤ガス及び土壤試料採取地点
- 土壤試料採取地点
- 土壤ガス採取地点

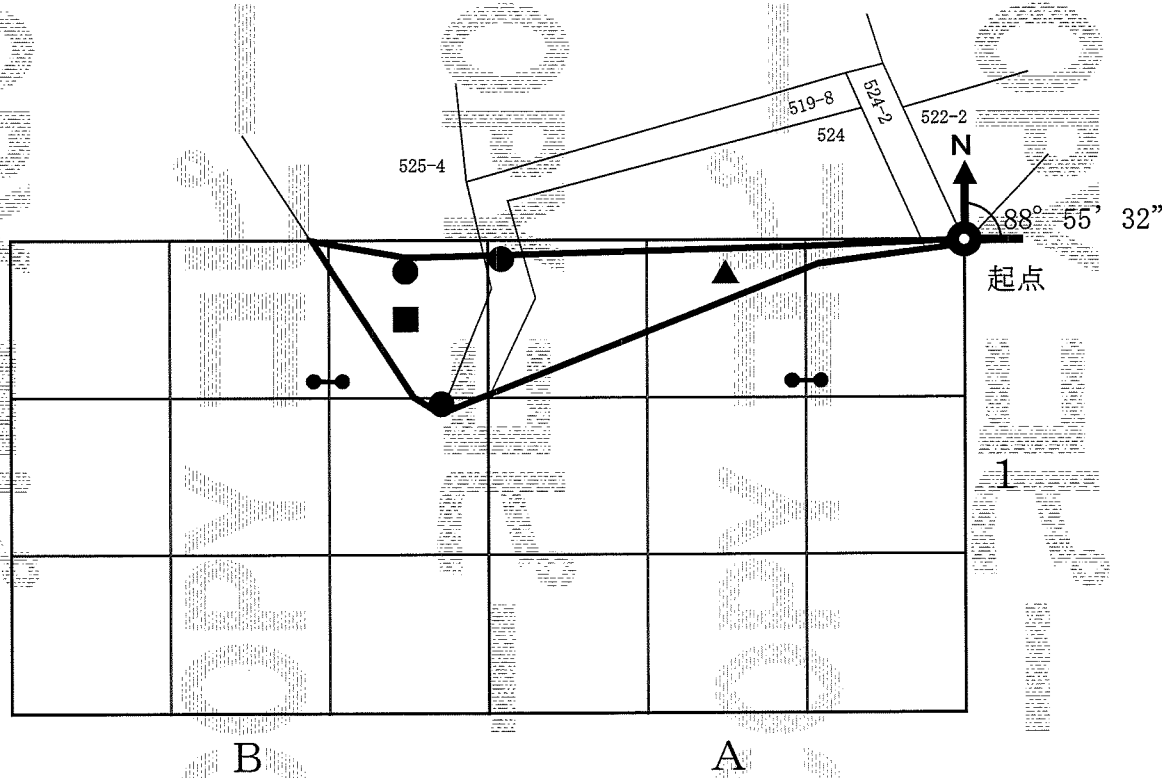


表1 区画一覧

(単位：m²)

区画名称	面積	統合した区画
A1-1	69.45	
A1-2	31.29	A1-3
A1-3	7.04	A1-2
B1-2	0.84	B1-3
B1-3	68.88	B1-2
B1-6	2.54	
合計	180.04	

表2 土壌ガス調査結果

(単位：volppm)

対象区画名称	試料採取地点	クロロエチレン	1,1-ジクロロエチレン	1,2-ジクロロエチレン	トリクロロエチレン	ベンゼン
A1	A1-2 土壌ガス	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.05
B1	B1-3 土壌ガス	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.05
土壌ガス判定基準		0.1	0.1	0.1	0.1	0.05

表3 土壌溶出量調査結果一覧表

(単位：mg/L)

対象区画名称	試料採取地点	カドミウム及びその化合物	六価クロム化合物	水銀及びその化合物	アルキル水銀	セレン及びその化合物	鉛及びその化合物	砒素及びその化合物
A1	A1-1	<0.0003	<0.005	0.0006	不検出	<0.001	0.019	0.003
	A1-2	<0.0003	<0.005	0.0013	不検出	<0.001	0.006	0.004
B1	B1-3	<0.0003	<0.005	<0.0005	-	<0.001	0.006	0.003
	B1-6	0.0004	<0.005	<0.0005	-	<0.001	0.023	0.005
溶出量基準		0.003	0.05	0.0005	*	0.01	0.01	0.01
第二溶出量基準		0.09	1.5	0.005	*	0.3	0.3	0.3

*検出されないこと

表4 土壌含有量調査結果一覧表




(単位：mg/kg)

対象区画名称	試料採取地点	カドミウム及びその化合物	六価クロム化合物	水銀及びその化合物	セレン及びその化合物	鉛及びその化合物	砒素及びその化合物
A1	A1-1	<4.5	<25	<1.5	<15	33	<15
	A1-2	<4.5	<25	<1.5	<15	<15	<15
B1	B1-3	<4.5	<25	<1.5	<15	49	<15
	B1-6	<4.5	<25	<1.5	<15	25	<15
含有量基準		45	250	15	150	150	150

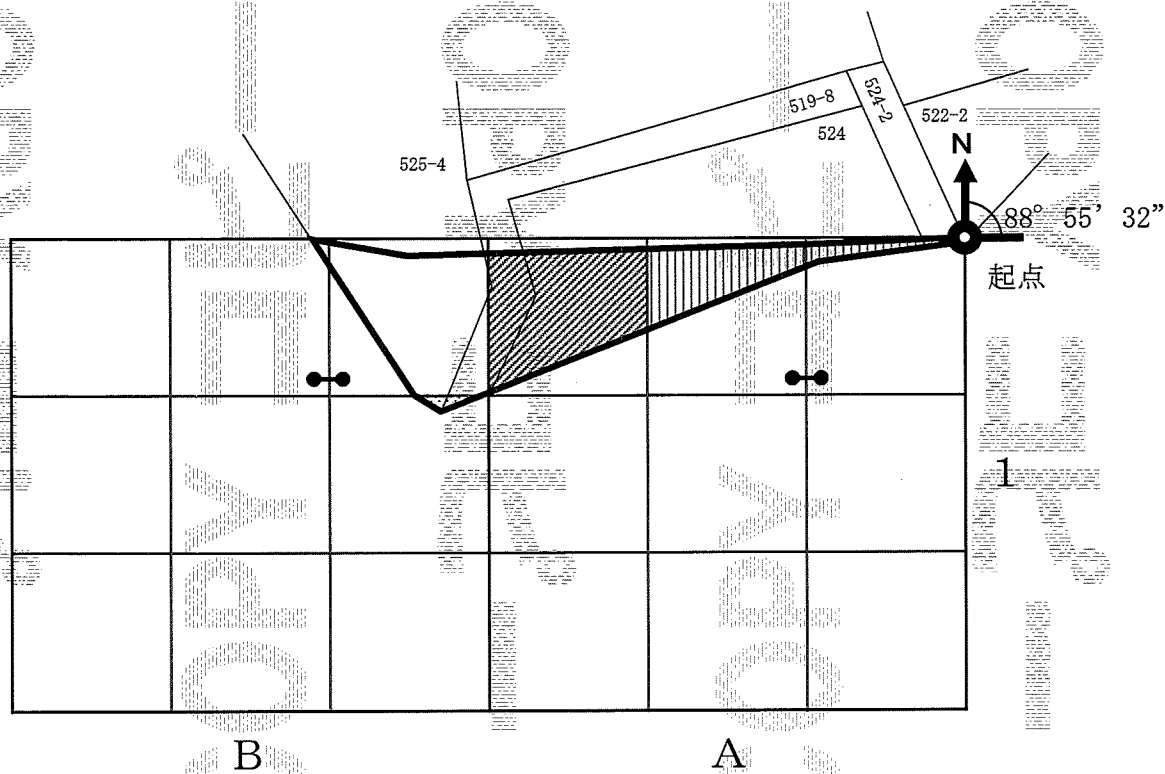
区域指定図 (図 2)

所在地：渋川市八木原字町東519番8の一部、522番2の一部、524番の一部、524番2の一部、525番4の一部

凡例

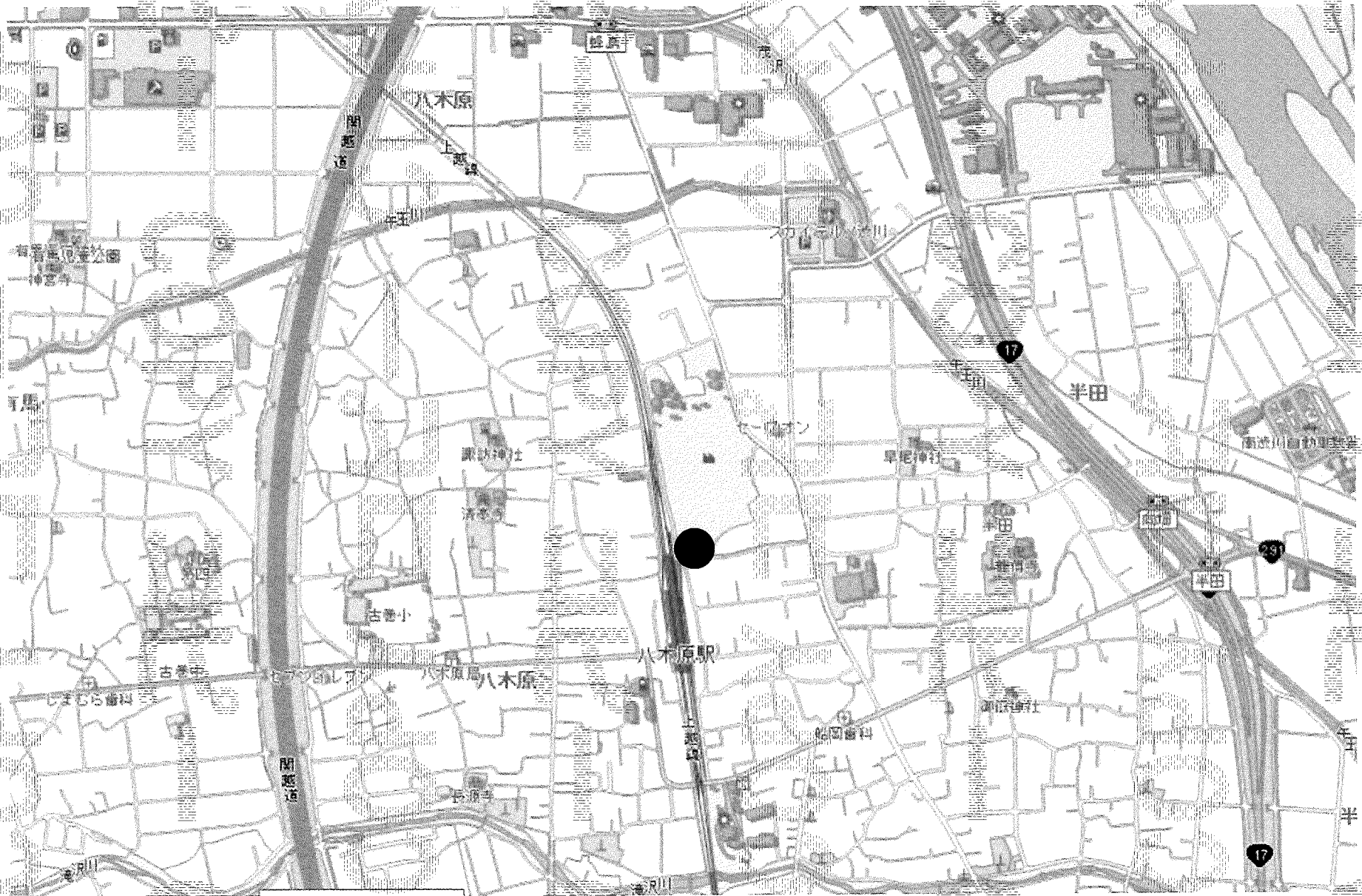
-  土壌溶出量基準超過 (水銀及びその化合物、鉛及びその化合物)
-  土壌溶出量基準超過 (水銀及びその化合物)
-  土壌溶出量基準超過 (鉛及びその化合物)

-  調査対象地
-  統合区画



指定区域の周辺の地図（図3）

● 指定区域



ボーリングによる土壌の採取及び測定により、形質変更時要届出区域内の土地の土壌の特定有害物質による汚染状態を明らかにした図面（図4）

所在地：渋川市八木原字町東519番8の一部、522番2の一部、524番の一部、524番2の一部、525番4の一部

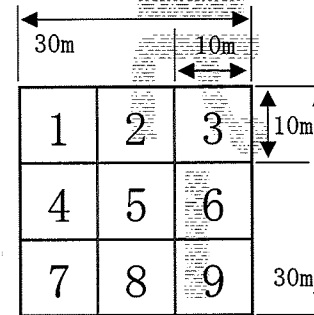
調査物質：水銀及びその化合物、鉛及びその化合物

調査方法：土壌溶出量調査、地下水調査

試料採取日：令和4年2月9日、22日

調査結果：表5のとおり

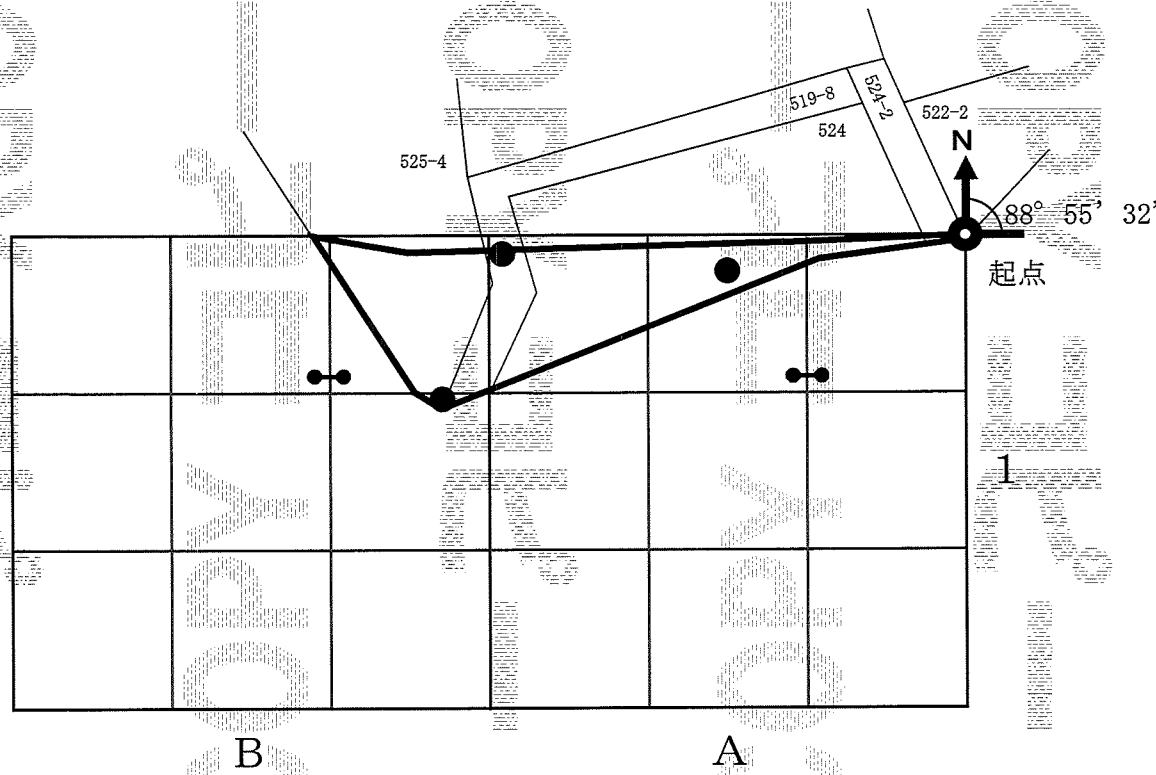
凡例



調査対象地

統合区画

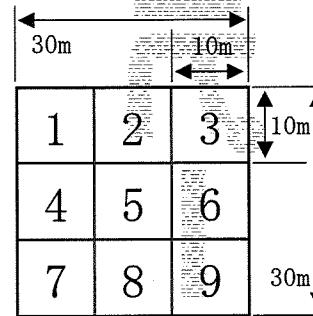
土壌試料採取地点






指定解除範囲を明らかにした図面、汚染の除去等の措置に該当する行為の実施場所及び施行方法を明らかにした図面（令和5年2月10日提出）（図5）

所在地：渋川市八木原字町東519番8の一部、522番2の一部、524番の一部、524番2の一部、525番4の一部
 施行方法：土壌汚染の掘削除去

凡例



-  調査対象地
-  統合区画
-  土壌汚染の除去を行う範囲

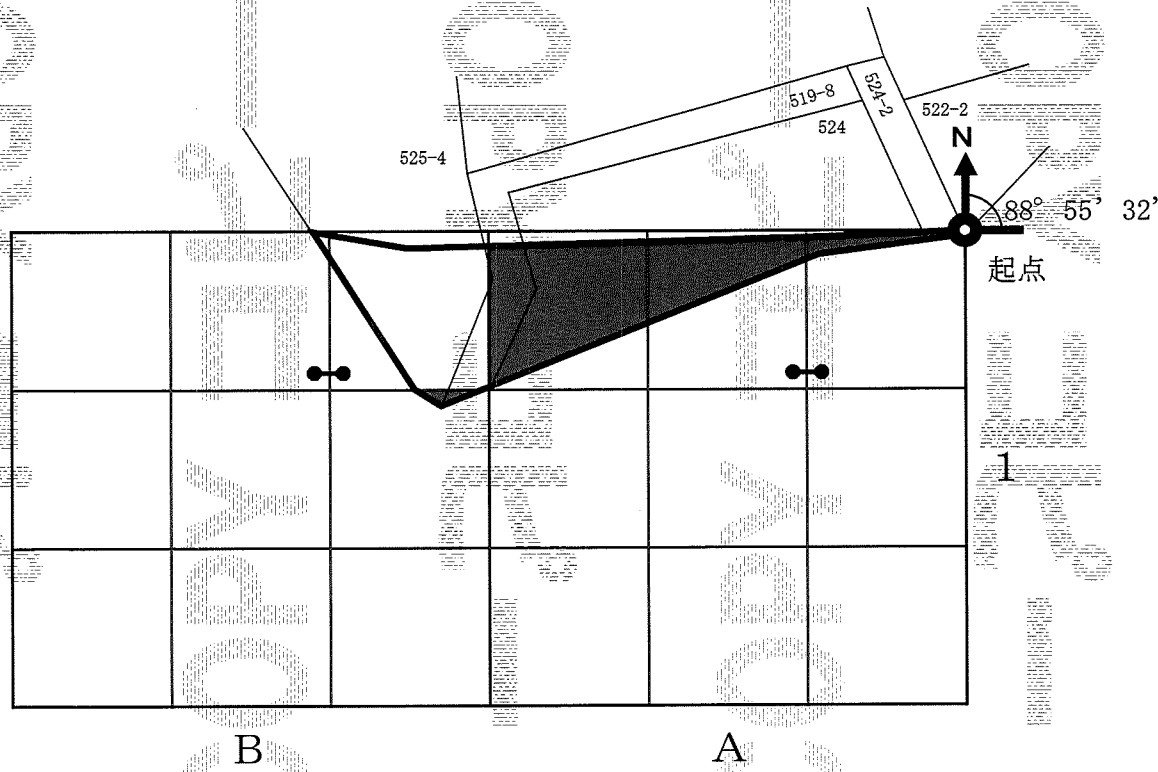
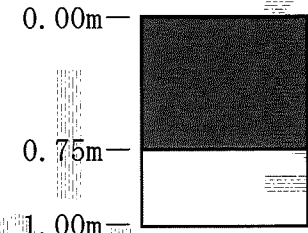


表5 ボーリングによる土壌の採取及び測定により、形質変更時要届出区域内の土地の土壌の特定有害物質による汚染状態を明らかにした調査結果一覧表

(単位：mg/L)

対象単位区画名		A1-1		
調査内容		水銀及びその化合物	鉛及びその化合物	備考
深度 (m)	0.00-0.50	0.0006	0.019	表層※1
	0.75	<0.0005	<0.001	※2
	1.00	<0.0005	<0.001	※2
	2.00	<0.0005	<0.001	※2
	3.00	<0.0005	<0.001	※2
	4.00	<0.0005	<0.001	※2
	5.00	<0.0005	<0.001	※2
地下水		<0.0005	<0.001	※2
溶出量基準		0.0005	0.01	
第二溶出量基準		0.005	0.3	
地下水基準		0.0005	0.01	

※1 土壌汚染状況調査結果の再掲。

※2 水銀は基準適合したため、アルキル水銀の分析は実施しなかった。

(単位：mg/L)

対象単位区画名		A1-2	B1-6	備考
調査内容		水銀及びその化合物	鉛及びその化合物	
深度 (m)	0.00-0.50	0.0013	0.023	表層※1
	0.75	<0.0005	<0.001	※2
	1.00	<0.0005	<0.001	※2
	2.00	<0.0005	<0.001	※2
	3.00	<0.0005	<0.001	※2
	4.00	<0.0005	<0.001	※2
	5.00	<0.0005	<0.001	※2
地下水		<0.0005	<0.001	※2
溶出量基準		0.0005	0.01	
第二溶出量基準		0.005	0.3	
地下水基準		0.0005	0.01	

※1 土壌汚染状況調査結果の再掲。

※2 水銀は基準適合したため、アルキル水銀の分析は実施しなかった。

表6 措置完了後の地下水調査結果

(単位：mg/L)

調査内容	水銀及びその化合物	アルキル水銀	鉛及びその化合物
No.1	<0.0005	不検出	<0.01
No.2	<0.0005	不検出	-
No.3	-	-	<0.01
地下水基準	0.0005	*	0.01

*検出されないこと